

セグロウリミバエが発見されました！

令和6年3月以降、沖縄本島地域（中北部）で、海外から侵入した農作物の害虫**セグロウリミバエ**がトラップ調査により相次いで発見されています。
本種が定着すると農作物に大きな被害を及ぼす恐れがあるため、防除を実施しております。皆様の**防除へのご協力をお願いいたします。**



体長 8 ～ 9 mm

セグロウリミバエ



体長 7.5 ～ 9 mm

ウリ科果実から
出てきた**ウジ**(幼虫)

寄生する果実

ウリ類（ゴーヤ・ヘチマ・モーウイ・かぼちゃ・スイカ・メロン・トウガン・きゅうりなど）・その他



防除のおもな内容

- 1) 寄主植物の除去を行っています。
* 家庭菜園や野生植物も対象となります。
* 所有者の同意を得て行います。

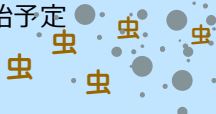


畑での除去の様子



- 2) 寄生果発見地周辺で殺虫剤を散布します。
* 人畜に対して安全性の高い薬剤を使用しています。

- 3) セグロウリミバエの不妊虫を大量放飼します。
※ 2025年6月順次開始予定



- 4) トラップや誘殺板を増設します。



ミバエ用トラップ



誘殺板

セグロウリミバエと他のミバエ類の見分け方

セグロウリミバエと他の主なミバエ類



セグロウリミバエ
(翅に黒い斑紋なし)



ウリミバエ
(翅に黒い斑紋がある)



ミスジミバエ

翅(はね)に、くさび型の黒い斑紋がないのがセグロウリミバエだよ！

※ ウリミバエは1993年に根絶されていますが、海外からの侵入防止のため、現在でも不妊虫を大量に放飼しています。



- ▶ 北部農林水産振興センター農業改良普及課 : 0980-52-2752
▶ 中部農業改良普及センター : 098-894-6521
▶ 南部農業改良普及センター : 098-889-3515

セグロウリミバエのまん延を防ぐため・・・



家庭菜園をお持ちの皆様へのおねがい

①栽培の終了した作物は、速やかに片づけましょう

自然に生えたもの(ナンクルミー)やウリ科雑草も、できるだけ抜き取りましょう。



②不要な果実はビニール袋に入れて密閉し、虫が死滅してから地域のルールに従って処分しましょう



→厚手のビニール袋に入れてねじって固く縛り、ガムテープ等でしっかり閉じる

③地域外へのウリ科果実の持ち出しを控えるよう、お願いします



④家庭菜園では、できるだけウリ科野菜の栽培を控えるようお願いします

(多くが家庭菜園から見つかっています!)



⑤もしウリ類果実の中にウジ(幼虫)を見つけたらすぐに下記に御連絡下さい



詳しくはこちら!



沖縄県病害虫
防除技術センター
ホームページ



連絡先

- ▶沖縄県病害虫防除技術センター : 098-886-3880
- ▶北部農林水産振興センター農業改良普及課 : 0980-52-2752
- ▶中部農業改良普及センター : 098-894-6521
- ▶南部農業改良普及センター : 098-889-3515